

生	00	01	5年
(令和9年3月末まで保存)			

生 企 第 4 0 1 号  
令 和 4 年 3 月 1 1 日

生活安全企画課長  
各 警 察 署 長 殿

生 活 安 全 部 長

銃砲又はクロスボウに係る許可証等への旧姓記載等の運用について

「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月25日閣議決定）及び「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」（令和3年6月16日すべての女性が輝く社会づくり本部・男女共同参画推進本部決定）においては、婚姻により改姓した人が不便さや不利益を感じることはないよう、旧姓の通称使用の拡大やその周知に取り組むこととされているところ、銃砲刀剣類所持等取締法施行規則（昭和33年総理府令第16号。以下「府令」という。）別記様式第20号の講習修了証明書、別記様式第24号の技能検定合格証明書、別記様式第27号の技能講習修了証明書、別記様式第29号の猟銃・空気銃所持許可証、別記様式第30号の銃砲所持許可証、別記様式第31号の刀剣類所持許可証、別記様式第42号の射撃指導員指定書、別記様式第50号の教習資格認定証、別記様式第61号の練習資格認定証、別記様式第65号の年少射撃資格認定証及び別記様式第69号の年少射撃資格講習修了証明書（以下「猟銃・空気銃所持許可証等」という。）への旧姓（住民基本台帳法施行令（昭和42年政令第292号）第30条の13にいう「旧氏」を指す。以下同じ。）の記載又は許可証等に記載された旧姓の変更若しくは削除（以下「旧姓記載等」という。）については、「射撃指導員指定書への旧姓記載等の運用について」（令和3年10月5日付け生企第234号）及び「猟銃・空気銃所持許可証等への旧姓記載等の運用について」（令和4年1月4日付け生企第314号）（以下「旧通達」という。）により示してきたところであるが、猟銃・空気銃所持許可証等並びに銃砲刀剣類所持等取締法施行規則の一部を改正する内閣府令（令和4年内閣府令第4号）による改正後の府令別記様式第29号の2のクロスボウ所持許可証、別記様式第30号の2のクロスボウ所持許可証（産業等用）及び別記様式第69号の2のクロスボウ射撃資格認定証（以下「許可証等」という。）への旧姓記載等については下記のとおりとするので、遺憾のないようにされたい。

なお、本通達による運用は、令和4年3月15日から実施することとし、旧通達は、その実施をもって廃止する。

記

## 1 概要

許可証等の交付又は再交付（以下「交付等」という。）を受けようとする者又は現に許可証等の交付を受けている者の申出により、旧姓記載等を行うものとする。

## 2 旧姓記載等の方法

### (1) 旧姓の記載方法

#### ア 許可証等の交付等を伴う場合

許可証等の交付を受けようとする者が、併せて当該許可証等への旧姓の記載を希望する場合には、当該者による申出を受け、別添の記載例のとおり、許可証等の氏名欄に旧姓を併記するとともに、余白部分又は備考欄に「(備考) 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名」と記載することとする。

#### イ 許可証等の交付等を伴わない場合

現に許可証等の交付を受けている者が、上記ア以外の場合に許可証等への旧姓の記載を希望するときは、当該者による申出を受け、上記アと同様、許可証等の氏名欄に旧姓を併記するとともに、余白部分又は備考欄に「(備考) 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名」と記載することとする。また、猟銃・空気銃所持許可証、銃砲所持許可証、クロスボウ所持許可証及び刀剣類所持許可証については、併せて記載事項変更欄に「旧姓を使用した氏名を併記」と記載する。

### (2) 旧姓の変更方法

#### ア 許可証等の交付等を伴う場合

許可証等の交付を受けようとする者が、併せて許可証等の氏名欄に記載された旧姓の記載の変更を希望する場合には、当該者による申出を受け、許可証等の氏名欄に記載された旧姓を変更するとともに、余白部分又は備考欄に「(備考) 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名」と記載することとする。

#### イ 許可証等の交付等を伴わない場合

現に許可証等の交付を受けている者が、上記ア以外の場合に許可証等の氏名欄に記載された旧姓の記載の変更を希望するときは、当該者による申出を受け、許可証等の氏名欄に記載された旧姓を変更することとする。また、猟銃・空気銃所持許可証、銃砲所持許可証、クロスボウ所持許可証及び刀剣類所持許可証については、併せて記載事項変更欄に「旧姓を使用した氏名を変更」と記載する。

なお、変更前の旧姓が記載されていない許可証等の再交付を希望する者に対しては、許可証等の再交付の手続により、これを交付することができることとする。

### (3) 旧姓の削除方法

許可証等の交付を受けようとする者が、併せて許可証等に記載された旧姓の削除を希望する場合には、当該者による申出を受け、旧姓が削除された許可証等を交付することとする。

なお、上記以外の場合に許可証等に記載された旧姓の削除を希望する者がいるときには、許可証等の再交付の手続により、旧姓が記載されていない許可証等を

交付することができることとする。

### 3 旧姓記載等の申出方法

旧姓記載等の申出に当たっては、別添の記載例を参考とし、既存の申請書又は申込書（以下「申請書等」という。）を適宜活用することとされたい。

### 4 旧姓確認のための提示書類

旧姓記載等（削除を除く。）を希望する者による申出があった場合、申請書等の提出時に、旧姓が記載された住民票の写し又は旧姓が記載された個人番号カードを提示させ、申請書等に記載された旧姓が真正なものであることを確認することとする。

なお、旧姓の削除に当たっては、旧姓が記載された住民票の写し又は旧姓が記載された個人番号カードの提示を要しない。

### 5 手数料

旧姓記載等の手続自体については、手数料の徴収を要しないこととする。

なお、手数料の徴収を要しないのは、旧姓記載等の申出に係る部分のみの取扱いであり、同時に行われる各種手続が手数料の徴収を要する場合（例：猟銃・空気銃所持許可証、銃砲所持許可証、クロスボウ所持許可証及び刀剣類所持許可証の再交付）には、従来どおり手数料を徴収する必要がある。

担当 生活安全企画課  
営業・危険物係

令和4年4月1日以降  
担当 生活保安課  
営業・危険物係

第6号（第9条関係）

（表）

銃砲所持許可申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第 条第 項の規定による銃砲の所持の許可を次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	本籍		
	住所		
	ふりがな	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]	
	氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]	
	生年月日	年 月 日（ 歳）	
	電話番号		
申請件数	件 ※申請に係る銃砲欄（別紙）を作成すること。		
関係証明書等	交付年月日	番号	交付者
猟銃・空気銃所持許可証			
猟銃等講習会の講習修了証明書			
技能検定合格証明書			
技能講習修了証明書			
教習修了証明書			

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、猟銃・空気銃所持許可証の氏名欄に旧姓を併記することを希望。

(裏)

同居人	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ( 人 )
欠格事由	<input type="checkbox"/> 私は、法第5条第1項第2号から第18号までに規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。  (猟銃の許可申請者のみ回答) <input type="checkbox"/> 私は、法第5条の2第2項第2号又は第3号に規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。
省略した書類	添付を省略した書類 <input type="checkbox"/> 同居親族書 ( 年 月 日 公安委員会提出 ) <input type="checkbox"/> 市町村の長の証明書 ( 年 月 日 公安委員会提出 ) <input type="checkbox"/> 住民票の写し ( 年 月 日 公安委員会提出 ) <input type="checkbox"/> 経歴書 ( 年 月 日 公安委員会提出 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

- 備考
- 1 申請人が法第4条第5項の法人の代表者又は代理人、使用人その他の従業者であるときは、申請人の本籍欄にはその者の勤務する法人の事業場の名称を、住所欄にはその所在地、電話番号欄にはその者の勤務する法人の事業場の電話番号を記載すること。
  - 2 申請件数欄には、今回求める許可の件数を記載し、別紙に申請に係る銃砲について記載すること。
  - 3 猟銃・空気銃所持許可証欄には、現に交付を受けているものの交付年月日等を記載すること。
  - 4 同居人の欄には、その有無の該当する方の□内にレ印を記入し、同居人がいる場合にはその人数を記載すること。
  - 5 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は□内にレ印を記入すること。
  - 6 省略した書類欄には、添付書類を省略した書類で該当するものの□内にレ印を記入し、その提出日を記載すること。
  - 7 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

			／ 件		
銃	<input type="checkbox"/> 譲渡等承諾書のとおり				
	種類		銃番号		
	型式		銃の全長	センチメートル	
	商品名等		銃身長	センチメートル	
	公称口(番)径	ミリメートル インチ 番	弾倉型式及び充填可能弾数		
	(実測口径)	(ミリメートル)	適合実(空)包		
特徴		替え銃身			
用途	法第4条第1項に規定する用途				
	第1号	<input type="checkbox"/> 狩 猟	<input type="checkbox"/> 有害鳥獣駆除	<input type="checkbox"/> 標的射撃	
	第2号	<input type="checkbox"/> 人命救助	<input type="checkbox"/> 動物麻酔	<input type="checkbox"/> と 殺	<input type="checkbox"/> 漁 業
		<input type="checkbox"/> その他の産業の用途 ( )			
	<input type="checkbox"/> 第3号	<input type="checkbox"/> 第4号	<input type="checkbox"/> 第5号	<input type="checkbox"/> 第5号の2	<input type="checkbox"/> 第8号
	<input type="checkbox"/> 第9号	<input type="checkbox"/> 第10号			
<input type="checkbox"/> 法第6条第1項に規定する用途					
現所有者	<input type="checkbox"/> 譲渡等承諾書のとおり				
	住所				
	氏名				
	電話番号				

(裏)

備考

- 1 所持の許可を求める銃砲ごとに作成すること。
- 2 申請時において銃砲欄（種類欄を除く。）又は所持しようとする銃砲の現所有者の住所、氏名及び電話番号欄の記載事項が不明の場合は、当該欄は記載することを要しない。
- 3 内容が譲渡等承諾書と同一の場合は、譲渡等承諾書のとおりとある□内にレ印を記入すること。
- 4 銃砲の種類欄には、拳銃、空気拳銃、ライフル銃、散弾銃、ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃、空気銃、麻酔銃、と殺銃、救命索発射銃、救命用信号銃、運動競技用信号銃、捕鯨用標識銃、捕鯨砲、もり銃、建設用びょう打銃、建設用綱索発射銃、鉋さい破砕銃等の別を記載すること。
- 5 型式欄には、拳銃にあつては単発式、回転弾倉式、自動装填式等の別を、ライフル銃、散弾銃並びにライフル銃及び散弾銃以外の猟銃にあつては単身ボルト式、単身元折式、単身自動式、上下二連元折式、水平二連元折式等の別を、空気拳銃及び空気銃にあつてはレバースプリング式、ポンプ式、圧縮ガス式、プリチャージ式等の別を記載すること。
- 6 商品名等の欄には、その商品名を記載し、商品名が不明の場合は、年式等の別を記載すること。
- 7 公称口（番）径欄の実測口径（銃口先端の内径について測定した長さ）は、公称口（番）径が不明なものに限り記載すること。
- 8 特徴欄には、銃床の折り畳み式、伸縮式、着脱式の別又はその銃砲を特定するために必要な彫刻、傷、修理の跡等について記載すること。
- 9 銃番号欄には、銃砲の機関部に打刻されている番号を記載すること。ただし、機関部に打刻番号がない銃砲については、銃身部（機関部と分離できない構造のものに限る。）に打刻されている番号を記載すること。
- 10 銃の全長欄には、銃口先端から銃口中心線の延長と銃の最後部に接する線が直角に交わる点までの長さを記載すること。
- 11 銃身長欄には、銃口の先端面から包底面（空気拳銃及び空気銃にあつては、弾丸装填孔の後端面）までの長さ（回転弾倉式のものにあつては、弾倉の部分の長さを除く。）を記載すること。  
なお、産業用銃砲等で銃身長の測定が困難なものについては、記載をすることを要しない。
- 12 弾倉型式及び充填可能弾数欄には、箱型（着脱式又は固定式）、チューブ型、回転式等の別及び弾倉に込められる実包等の数を記載すること。
- 13 適合実（空）包欄には、その銃砲に通常使用される実包又は空包の名称を記載すること。
- 14 替え銃身欄には、替え銃身ごとにその口径及び銃身長を7及び11により記載すること。
- 15 用途欄には、該当する事項の□内にレ印を記入すること。  
なお、当該用途がその他の産業の用途である場合には、回転炉内の異常焼塊の除去等その具体的な用途を括弧内に記載すること。
- 16 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第6号の2（第9条関係）

（表）

クロスボウ所持許可申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第 条第 項の規定によるクロスボウの所持の許可を次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	本籍			
	住所			
	ふりがな	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]		
	氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]		
	生年月日	年 月 日（ 歳）		
	電話番号			
申請件数	件 ※申請に係るクロスボウ欄（別紙）を作成すること。			
関係証明書等	交付年月日	番号	交付者	
クロスボウ所持許可証				
クロスボウ講習会の講習修了証明書				

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、クロスボウ所持許可証の氏名欄に旧姓を併記することを希望。



(裏)

同居人	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ( 人 )
欠格事由	<input type="checkbox"/> 私は、法第5条第1項第2号から第18号までに規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。
省略した書類	添付を省略した書類 <input type="checkbox"/> 同居親族書 ( 年 月 日 公安委員会提出 ) <input type="checkbox"/> 市町村の長の証明書 ( 年 月 日 公安委員会提出 ) <input type="checkbox"/> 住民票の写し ( 年 月 日 公安委員会提出 ) <input type="checkbox"/> 経歴書 ( 年 月 日 公安委員会提出 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

- 備考
- 1 申請人が法第4条第5項の法人の代表者又は代理人、使用人その他の従業者であるときは、申請人の本籍欄にはその者の勤務する法人の事業場の名称を、住所欄にはその所在地、電話番号欄にはその者の勤務する法人の事業場の電話番号を記載すること。
  - 2 申請件数欄には、今回求める許可の件数を記載し、別紙に申請に係るクロスボウについて記載すること。
  - 3 クロスボウ所持許可証欄には、現に交付を受けているものの交付年月日等を記載すること。
  - 4 同居人の欄には、その有無の該当する方の□内にレ印を記入し、同居人がいる場合にはその人数を記載すること。
  - 5 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は□内にレ印を記入すること。
  - 6 省略した書類欄には、添付書類を省略した書類で該当するものの□内にレ印を記入し、その提出日を記載すること。
  - 7 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別紙

(表)

				／ 件
クロスボウ	<input type="checkbox"/> 譲渡等承諾書のとおり			
	型 式		クロスボウ番号	
	商 品 名		クロスボウの全 長	センチメートル
	特 徴		クロスボウの全 幅	センチメートル
用 途	法第4条第1項に規定する用途			
	第1号	<input type="checkbox"/> 狩猟	<input type="checkbox"/> 有害鳥獣駆除	<input type="checkbox"/> 標的射撃
	第2号の2	<input type="checkbox"/> 動物麻酔		<input type="checkbox"/> 漁業
		<input type="checkbox"/> その他の産業の用途 ( )		
	<input type="checkbox"/> 第3号	<input type="checkbox"/> 第5号の3	<input type="checkbox"/> 第8号	<input type="checkbox"/> 第9号
<input type="checkbox"/> 法第6条第1項に規定する用途				
現所有者	<input type="checkbox"/> 譲渡等承諾書のとおり			
	住所			
	氏名			
	電話番号			

(裏)

- 備考
- 1 所持の許可を求めるクロスボウごとに作成すること。
  - 2 申請時においてクロスボウ欄又は所持しようとするクロスボウの現所有者の住所、氏名及び電話番号欄の記載事項が不明の場合は、当該欄は記載することを要しない。
  - 3 内容が譲渡等承諾書と同一の場合は、譲渡等承諾書のとおりとある□内にレ印を記入すること。
  - 4 型式欄には、片手持ち又は両手持ちの別及び滑車あり又は滑車なしの別を記載すること。
  - 5 特徴欄には、そのクロスボウを特定するために必要な彫刻、傷、修理の跡、塗色等について記載すること。
  - 6 クロスボウ番号欄には、クロスボウに付されている固有の番号又は記号を記載すること。ただし、クロスボウに固有の番号又は記号が付されていない場合にあつては、当該欄は記載することを要しない。
  - 7 クロスボウの全長欄には、弦を引いていない状態における弦と直角の方向のクロスボウの長さを記載すること。
  - 8 クロスボウの全幅欄には、弦を引いていない状態における弦に平行な方向のクロスボウの長さを記載すること。
  - 9 用途欄には、該当する事項の□内にレ印を記入すること。  
なお、当該用途がその他の産業の用途である場合には、その具体的な用途を括弧内に記載すること。
  - 10 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

第7号（第9条関係）

刀 剣 類 所 持 許 可 申 請 書

銃砲刀剣類所持等取締法第 条第 項の規定による刀剣類の所持の許可を次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申 請 人	本 籍				
	住 所				
	ふ り が な	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]			
	氏 名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]			
	生 年 月 日	年 月 日 ( 歳)			
	電 話 番 号				
刀 剣 類	種 類				
	刃 渡 り	センチメートル			
	製 作 者 名 ( 銘 )				
	特 徴				
用 途	□法第4条第1項に規定する用途				
	第6号	□狩猟	□有害鳥獣駆除	□と殺	□漁業 □建設業
	第7号	□風俗慣習			
	第8号	□演劇	□舞踊	□その他	
	第9号	□博覧会	□その他		
	第10号	□博物館	□その他		
	□法第6条第1項に規定する用途				
欠 格 事 由	□ 私は、法第5条第1項第2号から第18号までに規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。				
備 考	氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、刀剣類所持許可証の氏名欄に旧姓を併記することを希望。				

備考

- 1 申請人が法第4条第5項の法人の代表者又は代理人、使用人その他の従業者であるときは、申請人の本籍欄にはその者の勤務する法人の事業場の名称、住所欄にはその所在地、電話番号欄にはその者の勤務する法人の事業場の電話番号を記載すること。
- 2 所持しようとする刀剣類について、種類及び法第4条第1項又は第6条第1項に規定する用途以外の事項が申請時において不明の場合は、その事項の該当欄は記載することを要しない。
- 3 種類欄には、日本刀、狩猟刀、と殺刀、漁業刀、剣、やり、なぎなた等の別を記載すること。
- 4 刃渡り欄には、刀及びなぎなたにあつては切先とむねまちとを結ぶ直線の長さ、剣にあつては切先と二箇所のはまちを結ぶ直線との最短距離、やりにあつては穂先とけら首とを結ぶ直線の長さを記載すること。
- 5 特徴欄には、その刀剣類を特定、識別する上に必要な彫刻、そり、傷、こしらえ等について記載すること。
- 6 用途欄には、該当する事項の□内にレ印を記入すること。
- 7 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は□内にレ印を記入すること。
- 8 備考欄には、現に許可を受けて所持する刀剣類の種類、許可の年月日、許可証の番号その他必要な事項を記載すること。
- 9 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第8号（第9条関係）

技能検定申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第5条の4第1項の規定による技能検定の受検を次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	本籍			
	住所			
	ふりがな	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]		
	氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]		
	生年月日	年 月 日 ( 歳)		
	電話番号			
現に交付を受けている 猟銃・空気銃所持許可証	交付年月日	番号	交付者	
欠格事由	<input type="checkbox"/> 私は、法第5条第1項第2号から第18号までに規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。 <input type="checkbox"/> 私は、法第5条の2第2項第2号又は第3号に規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。			
受検希望年月日	年 月 日			
受検希望場所				
受検希望銃種	<input type="checkbox"/> ライフル銃 <input type="checkbox"/> ライフル銃以外の猟銃			
所持希望銃種・形式				

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、技能検定合格証明書の氏名欄に旧姓を併記することを希望。

----- (この線から下には記載しないこと) -----

※ 指 定	通 知 書 番 号		通 知 書 交 付 年 月 日	
	受 検 指 定 年 月 日			
※ 実 施	検 定 年 月 日		検 定 場 所	
	検 定 の 結 果	合 ・ 否	合 格 証 明 書 番 号	

- 備考
- 1 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は□内にレ印を記入すること。
  - 2 受検希望銃種欄には、該当する銃種の□内にレ印を記入すること。
  - 3 所持希望銃種・型式欄には、所持を希望するライフル銃又はライフル銃以外の猟銃の別及び単身ボルト式、単身元折式、単身自動式、上下二連元折式、水平二連元折式等の別を記載すること。
  - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第9号（第9条関係）

猟銃等所持許可更新申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第7条の3第1項の規定による所持の許可の更新を次のとおり申請します。 の

年 月 日

公安委員会殿

申請人	本籍			
	住所			
	ふりがな	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]		
	氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]		
	生年月日	年 月 日 ( 歳)		
	電話番号			
申請件数	件 ※申請に係る銃砲欄(別紙)を作成すること。			
関係証明書等	交付年月日	番号	交付者	
現に交付を受けている 猟銃・空気銃所持許可証				
猟銃等講習会の講習修了証明書				
技能講習修了証明書				
同居人	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ( 人)			
欠格事由	<input type="checkbox"/> 私は、法第5条第1項第2号から第18号までに規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。 (猟銃の所持許可更新申請者のみ回答) <input type="checkbox"/> 法第5条の2第2項第2号又は第3号に規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。			
省略した書類	添付を省略した書類 <input type="checkbox"/> 同居親族書 ( 年 月 日 公安委員会提出) <input type="checkbox"/> 市町村の長の証明書 ( 年 月 日 公安委員会提出) <input type="checkbox"/> 経歴書 ( 年 月 日 公安委員会提出) <input type="checkbox"/> その他 ( )			

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、猟銃・空気銃所持許可証の氏名欄に旧姓を併記することを希望。



- 備考
- 1 申請件数欄は、更新の申請に係る銃砲について、別紙に記載すること。
  - 2 同居人の欄には、その有無の該当する方の□内にレ印を記入し、同居人がいる場合にはその人数を記載すること。
  - 3 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は□内にレ印を記入すること。
  - 4 省略した書類欄には、添付を省略した書類で該当するものの□内にレ印を記入し、その提出日を記載すること。
  - 5 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別紙

件数	更新の申請に係る銃砲	
/	銃の種別	<input type="checkbox"/> ライフル銃 <input type="checkbox"/> 散弾銃 <input type="checkbox"/> 空気銃 <input type="checkbox"/> ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃
	許可番号	
	許可年月日	<div style="text-align: right;">年      月      日</div>
/	銃の種別	<input type="checkbox"/> ライフル銃 <input type="checkbox"/> 散弾銃 <input type="checkbox"/> 空気銃 <input type="checkbox"/> ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃
	許可番号	
	許可年月日	<div style="text-align: right;">年      月      日</div>
/	銃の種別	<input type="checkbox"/> ライフル銃 <input type="checkbox"/> 散弾銃 <input type="checkbox"/> 空気銃 <input type="checkbox"/> ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃
	許可番号	
	許可年月日	<div style="text-align: right;">年      月      日</div>
/	銃の種別	<input type="checkbox"/> ライフル銃 <input type="checkbox"/> 散弾銃 <input type="checkbox"/> 空気銃 <input type="checkbox"/> ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃
	許可番号	
	許可年月日	<div style="text-align: right;">年      月      日</div>
/	銃の種別	<input type="checkbox"/> ライフル銃 <input type="checkbox"/> 散弾銃 <input type="checkbox"/> 空気銃 <input type="checkbox"/> ライフル銃及び散弾銃以外の猟銃
	許可番号	
	許可年月日	<div style="text-align: right;">年      月      日</div>

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第9号の2（第9条関係）

クロスボウ所持許可更新申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第7条の3第1項の規定によるクロスボウの所持の許可の更新を次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	本籍			
	住所			
	ふりがな	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]		
	氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]		
	生年月日	年 月 日 ( 歳)		
	電話番号			
申請件数	件 ※申請に係るクロスボウ欄(別紙)を作成すること。			
関係証明書等	交付年月日	番号	交付者	
現に交付を受けているクロスボウ所持許可証				
クロスボウ講習会の講習修了証明書				
同居人	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ( 人)			
欠格事由	<input type="checkbox"/> 私は、法第5条第1項第2号から第18号までに規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。			
省略した書類	添付を省略した書類 <input type="checkbox"/> 同居親族書 ( 年 月 日 公安委員会提出) <input type="checkbox"/> 市町村の長の証明書 ( 年 月 日 公安委員会提出) <input type="checkbox"/> 経歴書 ( 年 月 日 公安委員会提出) <input type="checkbox"/> その他 ( )			

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、クロスボウ許可証の氏名欄に旧姓を併記することを希望。

- 備考
- 1 申請件数欄は、更新の申請に係るクロスボウについて、別紙に記載すること。
  - 2 同居人の欄には、その有無の該当する方の□内にレ印を記入し、同居人がいる場合にはその人数を記載すること。
  - 3 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は□内にレ印を記入すること。
  - 4 省略した書類欄には、添付を省略した書類で該当するものの□内にレ印を記入し、その提出日を記載すること。
  - 5 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別紙

件数	更新の申請に係るクロスボウ	
／	許 可 番 号	
	許 可 年 月 日	年 月 日
／	許 可 番 号	
	許 可 年 月 日	年 月 日
／	許 可 番 号	
	許 可 年 月 日	年 月 日
／	許 可 番 号	
	許 可 年 月 日	年 月 日
／	許 可 番 号	
	許 可 年 月 日	年 月 日

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

第10号（第9条関係）

教 習 資 格 認 定 申 請 書

銃砲刀剣類所持等取締法第9条の5第2項の規定による射撃教習を受ける資格の認定を次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申 請 人	本 籍			
	住 所			
	ふ り が な	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]		
	氏 名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]		
	生 年 月 日	年 月 日 ( 歳)		
	電 話 番 号			
現に交付を受けている 猟銃・空気銃所持許可証	交 付 年 月 日	番 号	交 付 者	
教 習 希 望 銃 種	<input type="checkbox"/> ライフル銃 <input type="checkbox"/> ライフル銃以外の猟銃			
所持希望銃種・型式				
欠格事由	<input type="checkbox"/> 私は、法第5条第1項第2号から第18号までに規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。 <input type="checkbox"/> 私は、法第5条の2第2項第2号又は第3号に規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。			

- 備考
- 1 教習希望銃種欄には、該当する銃種の□内にレ印を記入すること。
  - 2 所持希望銃種・型式欄には、ライフル銃若しくは散弾銃又はライフル銃及び散弾銃以外の猟銃の別及び単身ボルト式、単身元折式、単身自動式、上下二連元折式、水平二連元折式等の別を記載すること。
  - 3 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は□内にレ印を記入すること。
  - 4 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、教習資格認定証の氏名欄に旧姓を併記することを希望。



- 備考
- 1 猟銃等講習会の講習修了証明書又は推薦書欄には、空気拳銃に係る申請の場合にあつては法第4条第1項第4号の規定に係る推薦書について記載し、その他の場合にあつては猟銃等講習会の講習修了証明書について記載すること。
  - 2 練習希望銃種欄には、該当する銃種の□内にレ印を記入すること。
  - 3 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は□内にレ印を記入すること。
  - 4 省略した書類欄には、添付を省略した書類で該当するものの□内にレ印を記入し、その提出日及び提出先の都道府県公安委員会の所在する都道府県名を記載すること。
  - 5 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。



第11号の2（第9条関係）

クロスボウ射撃資格認定申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第9条の16第1項の規定による資格の認定を次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	本籍			
	住所			
	ふりがな	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]		
	氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]		
	生年月日	年 月 日 ( 歳)		
	電話番号			
申請件数	件 ※申請人を監督することとなるクロスボウ射撃指導員について、別紙を作成すること。			
関係証明書等	交付年月日	番号	交付者	
クロスボウ所持許可証				
クロスボウ射撃資格認定証				
クロスボウ講習会の講習修了証明書				
欠格事由	<input type="checkbox"/> 私は、法第5条第1項第2号から第18号までに規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。			
備考				

- 備考
- 1 クロスボウ所持許可証欄には、現に交付を受けているものの交付年月日等を記載すること。
  - 2 クロスボウ射撃資格認定証欄には、現に交付を受けているものの交付年月日等を記載すること。
  - 3 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は□内にレ印を記入すること。
  - 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、クロスボウ射撃資格認定証の氏名欄に旧姓を併記することを希望。

別紙

番号	申請人を監督することとなるクロスボウ射撃指導員	
／ 件	指定番号	第 号 公安委員会
	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	
	生年月日	年 月 日
／ 件	指定番号	第 号 公安委員会
	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	
	生年月日	年 月 日
／ 件	指定番号	第 号 公安委員会
	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	
	生年月日	年 月 日
／ 件	指定番号	第 号 公安委員会
	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	
	生年月日	年 月 日

- 備考
- 1 申請人を監督することとなる法第4条第1項第5号の3の規定による許可を受けたクロスボウ射撃指導員を記載すること。
  - 2 不用の欄は、斜線で消すこと。
  - 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第19号（第20条関係）

講 習 受 講 申 込 書

銃砲刀剣類所持等取締法 第5条の3第1項 第5条の3の2第1項 に規定する講習会の受講を

次のとおり申し込みます。

年 月 日

公安委員会殿

申 込 人	住 所		
	ふりがな	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]	
	氏 名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]	
	生 年 月 日	年	月 日
	電 話 番 号		
希望する講習の別	<input type="checkbox"/> 猟銃等講習会 <input type="checkbox"/> クロスボウ講習会		写 真     撮 影 年 月 日
受講希望年月日	年	月 日	
受講希望場所			
所持許可の有無	<input type="checkbox"/> 有（ <input type="checkbox"/> 猟銃 <input type="checkbox"/> 空気銃 <input type="checkbox"/> クロスボウ） <input type="checkbox"/> 無		

-----（この線から下には記載しないこと。）-----

	受講年月日	受講場所
予 定	年 月 日	
実 施 結 果	年 月 日	
考 査 の 結 果	合 ・ 否	

- 備考 1 猟銃等講習会の申込みを行う場合にあつては第5条の3第1項とある  
内に、クロスボウ講習会の申込みを行う場合にあつては第5条の3の  
 2第1項とある内にレ印を記入すること。  
 2 所持許可の有無欄には、現に法第4条第1項第1号の規定による所持  
 の許可を受けている銃砲等について、該当するものの内にレ印を記入  
 すること。  
 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、講習修了証明書の氏名欄に旧姓を併記することを希望。

第20号（第21条関係）

第 号

講習修了証明書

住所

氏名 **銃刀 太郎 [射撃 太郎]**

年 月 日生

上記の者は、銃砲刀剣類所持等取締法 第5条の3第1項 の講習を  
第5条の3の2第1項

受け、その課程を修了したものであることを証明する。

受講年月日	年 月 日
受講場所	
修了した課程	<input type="checkbox"/> 猟銃等 <input type="checkbox"/> クロスボウ

交付 年 月 日

公安委員会 印

**(備考) 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名**

注意事項

本証明書を添付書類として許可又は許可の更新を受けるためには、許可又は許可の更新時において、本証明書の交付を受けた日から起算して3年を経過していないことが必要である。

- 備考
- 1 用紙は、洋紙とすること。
  - 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第21号（第22条、第25条、第29条、第56条、第70条、第82条、第82条の3関係）

講習修了証明書等書換申請書  
の書換えを次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	ふりがな	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]		電話番号
	氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]		
変更した事項	新	本籍		
		住所		
		氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]	
	旧	本籍		
		住所		
		氏名	銃刀 太郎	
証明書等	証明書等番号	第	号	公安委員会
	交付年月日	年	月	日
	受講等場所			
	銃種			

- 備考 1 教習資格認定証、練習資格認定証及びクロスボウ射撃資格認定証に係る申請をする場合は、受講等場所欄には記載を要しない。
- 2 講習修了証明書、年少射撃資格講習修了証明書及びクロスボウ射撃資格認定証に係る申請をする場合は、銃種欄には記載を要しない。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、講習修了証明書の氏名欄に旧姓を併記することを希望。

第22号（第22条、第25条、第29条、第56条、第70条、第82条、第82条の3関係）

講習修了証明書等再交付申請書  
の再交付を次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	本籍	
	住所	
	ふりがな	じゅうとう たろう
	氏名	銃刀 太郎
	生年月日	年 月 日
	電話番号	
申請の理由	<b>旧姓を使用した氏名を削除した講習修了証明書の再交付を希望。</b> ※亡失、盗難又は滅失の状況を記載すること。	
証明書等	証明書等番号	第 号 公安委員会
	交付年月日	年 月 日
	受講等場所	
	銃種	

- 備考
- 1 講習修了証明書、技能検定合格証明書、技能講習修了証明書に係る申請をする場合は、本籍欄には記載を要しない。
  - 2 教習資格認定証、練習資格認定証及びクロスボウ射撃資格認定証に係る申請をする場合は、受講等場所欄には記載を要しない。
  - 3 講習修了証明書、年少射撃資格講習修了証明書及びクロスボウ射撃資格認定証に係る申請をする場合は、銃種欄には記載を要しない。
  - 4 亡失、盗難、滅失その他の再交付を必要とすることを示す書類がある場合には添付すること。
  - 5 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第 号

技能検定合格証明書

住所

氏名 **銃刀 太郎 [射撃 太郎]**

年 月 日生

上記の者は、銃砲刀剣類所持等取締法第5条の4第1項の技能検定を受け、合格した者であることを証明する。

受検年月日	年 月 日
受検場所	
受検銃種	

交付 年 月 日

公安委員会 印

**（備考）氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名**

注意事項

本証明書を添付書類として許可を受けるためには、許可時において、本証明書の交付を受けた日から起算して1年を経過していないことが必要である。

- 備考
- 1 用紙は、洋紙とすること。
  - 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第25号（第26条関係）

技能講習受講申込書

銃砲刀剣類所持等取締法第5条の5第1項に規定する講習の受講を次のとおり申し込みます。

年 月 日

公安委員会殿

申 込 人	住 所		
	ふりがな	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]	
	氏 名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]	
	生 年 月 日	年	月 日
	電 話 番 号		
許 可 証	交 付 年 月 日	年	月 日
	許可証番号等	第 号	公安委員会
受 講 希 望 関 係	<input type="checkbox"/> ライフル銃	希望年月日	
		希望場所	
	<input type="checkbox"/> ライフル銃 以外の猟銃	銃 種	<input type="checkbox"/> 散弾銃 <input type="checkbox"/> その他
		希望年月日	
	希望場所		

備考 1 受講希望関係欄には、受講を希望する銃種の□内にレ印を記入するとともに、その希望日時、希望場所を記載すること。

2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、技能講習修了証明書の氏名欄に旧姓を併記することを希望。



第 号

技能講習修了証明書

住所

氏名 **銃刀 太郎 [射撃 太郎]**

年 月 日生

上記の者は、銃砲刀剣類所持等取締法第5条の5第1項の講習を受け、その課程を修了した者であることを証明する。

受講年月日	年 月 日
受講場所	
受講銃種	

交付 年 月 日

公安委員会 印

**(備考) 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名**

注意事項

本証明書を添付書類として許可又は許可の更新を受けるためには、許可又は許可の更新時において、本証明書の交付を受けた日から起算して3年を経過していないことが必要である。

- 備考
- 1 用紙は、洋紙とすること。
  - 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第29号（第31条関係）



注 意 事 項

- 1 猟銃又は空気銃を携帯し、又は運搬する場合には、必ずこの許可証を携帯しなければならない。
  
- 2 猟銃又は空気銃は、この許可証に記載されている用途に供する場合その他正当な理由がある場合でなければ携帯し、又は運搬してはならない。また、この許可証に記載されている用途に供する場合でなければ発射してはならない。
  
- 3 許可証の記載事項に変更を生じた場合には、速やかに書換えの申請をしなければならない。
  
- 4 許可が失効し、又は取り消された場合には、速やかに許可証を返納しなければならない。ただし、その他の猟銃又は空気銃の所持の許可に係る事項が記載されているときは、失効し、又は取り消された許可に係る事項の抹消の申請をしなければならない。

( 2 面 )

許可証番号 第 号  
原 交 付 年 月 日  
交 付 年 月 日

本 籍		
住 所		
氏 名	<b>銃刀 太郎</b> <b>[射撃 太郎]</b>	写 真
生年月日	年 月 日	

押し出し

スタンプ

公安委員会 印

**(備考) 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名**

( 3 面、 5 面、 7 面、 9 面、 11面、 13面、 15面、 17面、 19面、 21面、 23面及び25面)

原 許 可	年 月 日		
原許可番号	第 号		
許可年月日	年 月 日 印		
許 可 番 号	第 号		
確 認	年 月 日 印		
有 効 期 間	年の誕生日まで		
更新申請期間	年 月 日から 年 月 日までの間		
種 類		銃 番 号	
型 式		銃 の 全 長	センチメートル
商 品 名 等		銃 身 長	センチメートル
口 ( 番 ) 径	ミリメートル	弾倉形式 及び充てん可能弾数	
	インチ	適合実 (空)包	
特 徴		替え銃身	
用 途			

( 4 面、 6 面、 8 面、 10面、 12面、 14面、 16面、 18面、 20面、 22面、 24面及び26面)

更 新	年 月 日	年 月 日 団
	許 可 番 号	第 号
	有 効 期 間	年の誕生日まで
抹 消	年 月 日	年 月 日
	理由及び猟銃 等の処分状況	
許 可 の 条 件		年 月 日

(記載事項変更欄)

届 出 年 月 日	変 更 事 項	公 安 委 員 会 印
●年●月●日	旧姓を使用した氏名を併記	印
●年●月●日	旧姓を使用した氏名を変更	印

( 検 査 欄 )		
検 査 年 月 日	検 査 者 印	特 記 事 項

- 備考 1 表紙は、青色の皮、レザー又はビニール製とし、金文字入りとすること。
- 2 用紙は、洋紙とすること。
- 3 表紙の裏面に1面の用紙の裏面を貼り付け、2面の用紙の裏面が3面になるようにし、以下順次偶数の面の用紙の裏面が奇数面になるようにし、一の猟銃又は空気銃に係る記載が見開きの二面に収まるようにすること。
- 4 2面の原交付年月日には、猟銃又は空気銃につき当該所持有者に最初に許可証が交付された年月日を、交付年月日には更新、再交付等により許可証を交付した年月日を記載すること。
- 5 一の面の許可の条件欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを当該面の用紙に貼付すること。
- 6 表紙、裏表紙及び1面から28面までの用紙の大きさは、縦12.5センチメートル、横8.8センチメートルとすること。



第29号の2（第31条関係）



注 意 事 項

- 1 クロスボウを携帯し、又は運搬する場合には、必ずこの許可証を携帯しなければならない。
- 2 クロスボウは、この許可証に記載されている用途に供する場合その他正当な理由がある場合でなければ携帯し、又は運搬してはならない。また、この許可証に記載されている用途に供する場合でなければ発射してはならない。
- 3 許可証の記載事項に変更を生じた場合には、速やかに書換えの申請をしなければならない。
- 4 許可が失効し、又は取り消された場合には、速やかに許可証を返納しなければならない。ただし、その他のクロスボウの所持の許可に係る事項が記載されているときは、失効し、又は取り消された許可に係る事項の抹消の申請をしなければならない。

( 2 面 )

許可証番号 第 号  
原 交 付 年 月 日  
交 付 年 月 日

本 籍		
住 所		
氏 名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]	写 真
		押し出し スタンプ
生年月日	年 月 日	

公安委員会 印

(備考) 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名

( 3 面、 5 面、 7 面、 9 面、 11面、 13面、 15面、 17面、 19面、 21面、 23面及び25面)

原 許 可	年 月 日		
原許可番号	第 号		
許可年月日	年 月 日 印		
許 可 番 号	第 号		
確 認	年 月 日 印		
有 効 期 間	年の誕生日まで		
更新申請期間	年 月 日から 年 月 日までの間		
型 式		クロスボウ番号	
商 品 名		クロスボウの全長	センチメートル
特 徴		クロスボウの全幅	センチメートル
用 途			

( 4 面、 6 面、 8 面、 10面、 12面、 14面、 16面、 18面、 20面、 22面、 24面及び26面)

更 新	年 月 日	年 月 日 団
	許 可 番 号	第 号
	有 効 期 間	年の誕生日まで
抹 消	年 月 日	年 月 日
	理由及びクロス ボウの処分状況	
許 可 の 条 件		年 月 日

(記載事項変更欄)

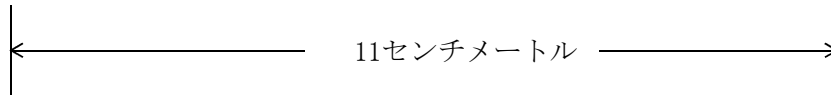
届 年 月 日 出 年 月 日	変 更 事 項	公 安 委 員 会 印
●年●月●日	旧姓を使用した氏名を併記	印
●年●月●日	旧姓を使用した氏名を変更	印

(28面)

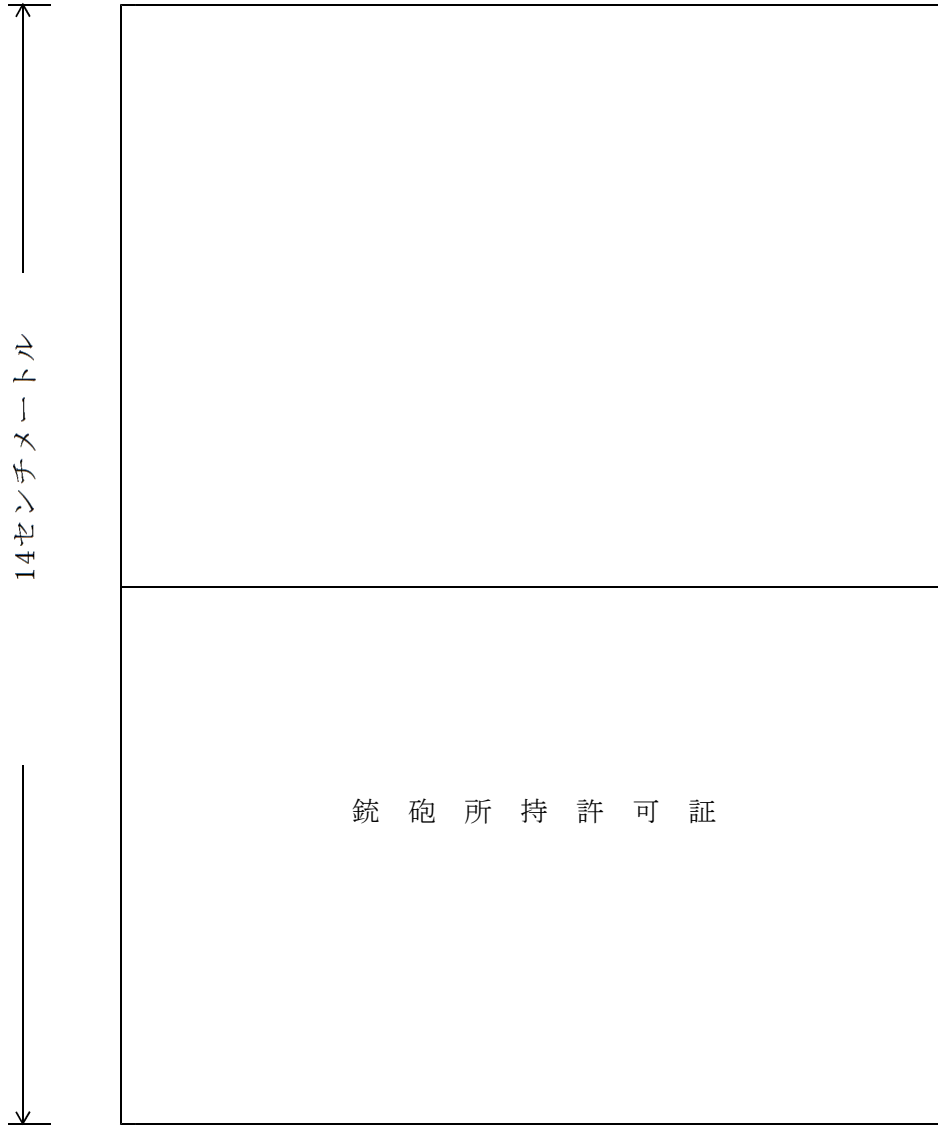
( 検 査 欄 )		
検 査 年 月 日	検 査 者 印	特 記 事 項

- 備考
- 1 表紙は、青色の皮、レザー又はビニール製とし、金文字入りとすること。
  - 2 用紙は、洋紙とすること。
  - 3 表紙の裏面に1面の用紙の裏面を貼り付け、2面の用紙の裏面が3面になるようにし、以下順次偶数の面の用紙の裏面が奇数面になるようにし、一のクロスボウに係る記載が見開きの二面に収まるようにすること。
  - 4 2面の原交付年月日には、クロスボウにつき当該所持者に最初に許可証が交付された年月日を、交付年月日には更新、再交付等により許可証を交付した年月日を記載すること。
  - 5 一の面の許可の条件欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを当該面の用紙に貼付すること。
  - 6 表紙、裏表紙及び1面から28面までの用紙の大きさは、縦12.5センチメートル、横8.8センチメートルとすること。

第30号 (第31条関係)



(裏 表 紙)



銃 砲 所 持 許 可 証

(表 紙)



(1面)

第 号		
写 真  押し出し  スタンプ	交付 年 月 日  (原交付 年 月 日)	
	公安委員会 印	
	-----	
確 認 年 月 日 印		
許可の有効期間 年 月 日まで		
所 持 者	本 籍	
	住 所	
	職 業	
	氏 名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]
	生 年 月 日	年 月 日

(2面)

(3面)

種類		銃番号	
型式		銃の全長	センチメートル
商品名等		銃身長	センチメートル
口(番)径	ミリメートル インチ 番	弾倉型式及 び充てん可 能弾数	
		適合実 (空)包	
特徴		替え銃身	

---

法第4条第1項 に規定する用途			
記載事項 変更欄	届出年月日	変更事項	公安委員会印
	●年●月●日	旧姓を記載した氏名を併記	印
	●年●月●日	旧姓を記載した氏名を変更	印
備考	氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名		

(4面)

(5面)

検 査 欄	検査年月日	検査者印	検査年月日	検査者印

---

許可の条件	年月日

(6面)

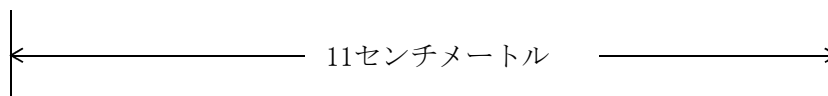
(7面)

注 意 事 項

- 1 銃砲を携帯し、又は運搬する場合には、必ずこの許可証を携帯しなければならない。
- 2 銃砲は、この許可証に記載されている用途に供する場合その他正当な理由がある場合でなければ携帯し、又は運搬してはならない。また、この許可証に記載されている用途に供する場合でなければ発射してはならない。
- 3 許可証の記載事項に変更を生じた場合には、速やかに書換えの申請をしなければならない。
- 4 許可が失効し、又は取り消された場合には、速やかに許可証を返納しなければならない。

- 備考
- 1 表紙は、黒色の皮、レザー又はビニール製とし、金文字又は黄文字入りとすること。
  - 2 用紙は、洋紙とすること。
  - 3 表紙の裏面に1面の用紙の裏面を貼り付け、2面の用紙の裏面が3面に、4面の用紙の裏面が5面に、6面の用紙の裏面が7面になるようにすること。
  - 4 1面の交付年月日には再交付により許可証を交付した年月日を、原交付年月日には当該銃砲につき当該所持者に最初に許可証が交付された年月日を記載すること。
  - 5 法第4条第1項第4号の規定による空気拳銃の所持の許可に係るもの以外のものについては、写真の貼付は要しない。
  - 6 許可の有効期間欄は、法第4条第1項第4号、第8号及び第9号の許可に係る銃砲について記載すること。
  - 7 所持者の本籍欄、住所欄及び職業欄には、その者が法第4条第5項の法人の代表者又は代理人、使用人その他の従業者であるときは、それぞれ、その者の勤務する法人の事業場の名称、その所在地及びその者の当該事業場における職務上の地位を記載すること。
  - 8 許可の条件の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを当該面の用紙に貼付すること。

第30号の2（第31条関係）



（裏 表 紙）



クロスボウ所持許可証（産業等用）

（表 紙）

(1面)

第 号		
交付 年 月 日		
(原交付 年 月 日)		
公安委員会 印		
-----		
確 認 年 月 日 印		
許可の有効期間 年 月 日まで		
所持者	本 籍	
	住 所	
	職 業	
	氏 名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]
	生 年 月 日	年 月 日

(2面)

(3面)

型 式		クロスボウ番号	
商 品 名		クロスボウの全長	センチメートル
特 徴		クロスボウの全幅	センチメートル
-----			
法第4条第1項 に規定する用途			
記 載 事 項 変 更 欄	届 出 年 月 日	変 更 事 項	公 安 委 員 会 印
	●年●月●日	旧姓を記載した氏名を併記	印
	●年●月●日	旧姓を記載した氏名を変更	印
備 考	氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名		

(4面)

(5面)

検 査 欄	検査年月日	検査者印	検査年月日	検査者印

---

許可の条件	年月日

(6面)



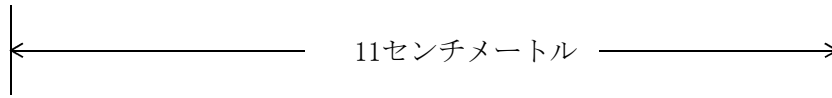
(7面)

注 意 事 項

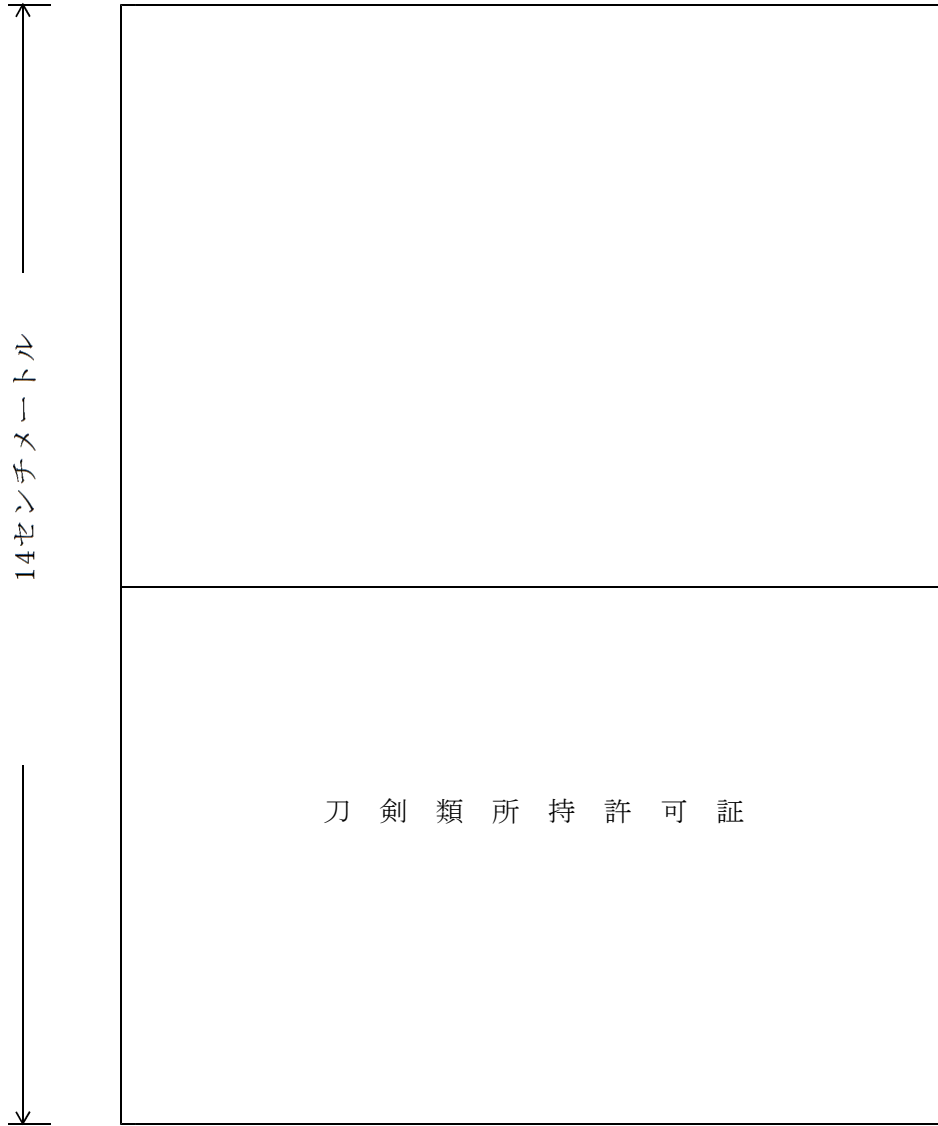
- 1 クロスボウを携帯し、又は運搬する場合には、必ずこの許可証を携帯しなければならない。
- 2 クロスボウは、この許可証に記載されている用途に供する場合その他正当な理由がある場合でなければ携帯し、又は運搬してはならない。また、この許可証に記載されている用途に供する場合でなければ発射してはならない。
- 3 許可証の記載事項に変更を生じた場合には、速やかに書換えの申請をしなければならない。
- 4 許可が失効し、又は取り消された場合には、速やかに許可証を返納しなければならない。

- 備考
- 1 表紙は、黒色の皮、レザー又はビニール製とし、金文字又は黄文字入りとすること。
  - 2 用紙は、洋紙とすること。
  - 3 表紙の裏面に1面の用紙の裏面を貼り付け、2面の用紙の裏面が3面に、4面の用紙の裏面が5面に、6面の用紙の裏面が7面になるようにすること。
  - 4 1面の交付年月日には再交付により許可証を交付した年月日を、原交付年月日には当該クロスボウにつき当該所持者に最初に許可証が交付された年月日を記載すること。
  - 5 許可の有効期間欄は、法第4条第1項第8号及び第9号の許可に係るクロスボウについて記載すること。
  - 6 所持者の本籍欄、住所欄及び職業欄には、その者が法第4条第5項の法人の代表者又は代理人、使用人その他の従業者であるときは、それぞれ、その者の勤務する法人の事業場の名称、その所在地及びその者の当該事業場における職務上の地位を記載すること。
  - 7 許可の条件の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを当該面の用紙に貼付すること。

第31号 (第31条関係)



(裏 表 紙)



14センチメートル

刀 劍 類 所 持 許 可 証

(表 紙)

(1面)

第 号		
交 付	年 月 日	
(原交付)	年 月 日)	
	公安委員会 印	
-----		
確 認	年 月 日 印	
許可の有効期間	年 月 日まで	
所 持 者	本 籍	
	住 所	
	職 業	
	氏 名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]
	生 年 月 日	

(2面)

(3面)

刀 剣 類	種 類		
	刃 渡 り	センチメートル	
	製作者名 (銘)		
	特 徴		
法第4条第1項 に規定する用途			
備 考	<b>氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名</b>		
記 載 事 項 変 更 欄	届 出 年 月 日	変 更 事 項	公 安 委 員 会 印
	●年●月●日	旧姓を使用した氏名を併記	印
	●年●月●日	旧姓を使用した氏名を変更	印

(4面)

(5面)

検 査 欄	検査年月日	検査者印	検査年月日	検査者印

現 品 引 渡 者 欄	この許可証記載の刀剣類を引き渡しました。 年 月 日
	引渡者 住所 氏名

---

許可の条件	年 月 日

(6面)

(7面)

注 意 事 項

- 1 刀剣類を携帯し、又は運搬する場合には、必ずこの許可証を携帯しなければならない。
- 2 刀剣類は、この許可証に記載されている用途に供するかその他正当な理由がある場合以外には、これを携帯し、又は運搬してはならない。
- 3 許可証の記載事項に変更を生じた場合には、速やかに許可証の書換えの申請をしなければならない。
- 4 許可が失効し、又は取り消された場合には、速やかに許可証を返納しなければならない。

- 備考
- 1 表紙は、黒色の皮、レザー又はビニール製とし、金文字又は黄文字入りとすること。
  - 2 用紙は、洋紙とすること。
  - 3 表紙の裏面に1面の用紙の裏面を貼り付け、2面の用紙の裏面が3面に、4面の用紙の裏面が5面に、6面の用紙の裏面が7面になるようにすること
  - 4 1面の交付年月日には再交付により許可証を交付した年月日を、原交付年月日には当該刀剣類につき当該所持者に最初に許可証が交付された年月日を記載すること。
  - 5 許可の有効期間欄には、法第4条第1項第8号及び第9号の許可に係る刀剣類について記載すること。
  - 6 所持者の本籍欄、住所欄及び職業欄には、その者が法第4条第5項の法人の代表者又は代理人、使用人その他の従業者であるときは、それぞれ、その者の勤務する法人の事業場の名称、その所在地及びその者の当該事業場における職務上の地位を記載すること。
  - 7 許可の条件欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを当該面の用紙に貼付すること。

第34号（第32条関係）

銃砲等又は刀剣類所持許可証書換申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第7条第2項の規定により、許可証の書換えを次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	ふりがな	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]		電話番号	
	氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]			
	許可証番号	第 号			
変更した事項	人定事項				
	旧	本籍			
		住所			
		氏名	銃刀 太郎		
	新	本籍			
		住所			
		氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]		
	銃砲等又は刀剣類関係（許可番号：第 号）				
	旧	<input type="checkbox"/> 銃砲			
<input type="checkbox"/> クロスサ					
新	<input type="checkbox"/> 刀剣類				

- 備考
- 申請人が法人の代表者又は代理人、使用人その他の従業員で、その法人の業務のための所持について法第4条第1項の規定による所持の許可を受けた者であるときは、申請人の電話番号欄にはその者の勤務する法人の電話番号を、変更した事項の本籍欄には申請に係る法人の事業場の名称、住所欄にはその所在地を記載すること。
  - 変更した事項のうち銃砲等又は刀剣類関係欄には、該当するものの□内にレ印を記入すること。
  - 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、猟銃・空気銃所持許可証の氏名欄に旧姓を併記することを希望。

第35号（第33条関係）

銃砲等又は刀剣類所持許可証再交付申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第7条第2項の規定により、許可証の  亡失  盗難  滅失 に  
 ついて届け出るとともに、許可証の再交付を次のとおり申請します。  
 年 月 日

公安委員会殿

申請人	本籍	
	住所	
	ふりがな	じゅうとう たろう
	氏名	銃刀 太郎
	生年月日	年 月 日（ 歳）
	電話番号	
申請の理由	<p><b>旧姓を使用した氏名を削除した猟銃・空気銃所持許可証の再交付を希望。</b></p> <p>※亡失、盗難又は滅失の状況を記載すること。</p>	
所持許可証	許可証の種別	<input type="checkbox"/> 猟銃・空気銃所持許可証（様式第29号） <input type="checkbox"/> クロスボウ所持許可証（様式第29号の2） <input type="checkbox"/> 銃砲所持許可証（様式第30号） <input type="checkbox"/> クロスボウ所持許可証（産業等用）（様式第30号の2） <input type="checkbox"/> 刀剣類所持許可証（様式第31号） <input type="checkbox"/> 銃砲所持許可証（FIREARMS PERMIT）（様式第32号） <input type="checkbox"/> クロスボウ所持許可証（CROSSBOWS PERMIT）（様式第32号の2） <input type="checkbox"/> 刀剣類所持許可証（SWORDS PERMIT）（様式第33号）
	許可証番号	第 号
	交付年月日	年 月 日
	交付公安委員会	公安委員会

- 備考
- 1 亡失、盗難、滅失の別及び許可証の種別欄には、該当する□内にレ印を記入すること。
  - 2 亡失、盗難、滅失その他の再交付を必要とすることを示す書類がある場合には添付すること。
  - 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。



第41号（第43条関係）

射 撃 指 導 員 指 定 申 請 書

銃砲刀剣類所持等取締法 第9条の3第1項 猟銃等射撃指導員  
第9条の3の2第1項 の規定により、 クロスボウ射撃指導員

の指定を次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申 請 人	住 所	
	ふ り が な	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]
	氏 名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]
	生 年 月 日	年 月 日
射 撃 指 導 の 種 別		<input type="checkbox"/> ライフル射撃 <input type="checkbox"/> ライフル銃以外の猟銃射撃 <input type="checkbox"/> 空気銃射撃 <input type="checkbox"/> クロスボウ射撃
現に交付を受けている 許 可 証	許可証番号	号
	交付年月日	年 月 日
	交 付 者	公安委員会
備 考	氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、射撃指導員指定書の氏名欄に旧姓を併記することを希望。	

- 備考 1 猟銃等射撃指導員に係る申請をする場合にあつては第9条の3第1項とある及び猟銃等射撃指導員とある内に、クロスボウ射撃指導員に係る申請をする場合にあつては第9条の3の2第1項とある及びクロスボウ射撃指導員とある内にレ印を記入すること。
- 2 射撃指導の種別欄には、該当するものの内にレ印を記入すること。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第44号（第46条関係）

射撃指導員指定申請書記載事項変更届出書

銃砲刀剣類所持等取締法施行規則第46条の規定により、射撃指導員指定申請書の記載事項の変更を次のとおり届け出ます。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	住所		
	ふりがな		じゅうとう たろう
	氏名		銃刀 太郎
	生年月日		年 月 日
	指定番号		
変更した事項	<input type="checkbox"/> 住所 <input checked="" type="checkbox"/> 氏名 <input type="checkbox"/> 射撃指導の種別 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <small>(指定書への旧姓併記)</small>	旧	じゅうとう たろう 銃刀 太郎
		新	じゅうとう たろう [しゃげき たろう] 銃刀 太郎 [射撃 太郎]
現に交付を受けている許可証	許可証番号		
	交付年月日		
	交付者		

- 備考 1 変更した事項欄には、該当するものの□内にレ印を記入すること。  
 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第	号	教 習 資 格 認 定 証	
写 真	本籍		
押し出し	住所		
スタンプ	氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]	
		年	月 日生
上記の者は、銃砲刀剣類所持等取締法第9条の5第1項に定める射撃教習を受ける資格があることを認定する。			
射撃教習に係る銃種			
有効期間	年	月	日まで
		交付	年 月 日
		公安委員会	印
<b>(備考) 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名</b>			

備考 1 用紙は、洋紙とすること。

2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第61号（第69条関係）

第	号		
練 習 資 格 認 定 証			
写 真	本 籍		
押し出し	住 所		
スタンプ	氏 名 <b>銃刀 太郎 [射撃 太郎]</b>		
年 月 日生			
上記の者は、銃砲刀剣類所持等取締法第9条の10第1項に定める射撃練習を行う資格があることを認定する。			
射撃練習に係る銃種			
関係証明書	交付年月日	番 号	交 付 者
猟銃等講習会の講習 修了証明書又は推薦書			
技能検定合格証明書 又は教習修了証明書			
年 月 日			
公安委員会 印			
<b>(備考) 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名</b>			

- 備考 1 用紙は、洋紙とすること。  
2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第64号（第75条関係）

年少射撃資格認定申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第9条の13第1項の規定による年少射撃資格の認定を次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	本籍			
	住所			
	ふりがな	じゅうとう たろう [しゃげき たろう]		
	氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]		
	生年月日	年 月 日 ( 歳)		
	電話番号			
申請件数		件 ※申請人を監督することとなる猟銃等射撃指導員について、別紙を作成すること。		
関係証明書等		交付年月日	番号	交付者
猟銃・空気銃所持許可証				
年少射撃資格認定証				
年少射撃資格講習修了証明書				
欠格事由	<input type="checkbox"/> 私は、法第5条第1項第2号から第18号までに規定するいずれにも該当しない者であることを誓約します。			
備考				

- 備考
- 1 猟銃・空気銃所持許可証欄には、現に交付を受けているものの交付年月日等を記載すること。
  - 2 年少射撃資格認定証欄には、現に交付を受けているものの交付年月日等を記載すること。
  - 3 欠格事由欄には、当該欠格事由に該当しない旨を誓約する場合は□内にレ印を記入すること。
  - 4 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、年少射撃資格認定証の氏名欄に旧姓を併記することを希望。

別紙

番号	申請人を監督することとなる猟銃等射撃指導員	
／ 件	指定番号	第 号 公安委員会
	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	
	生年月日	年 月 日
	銃砲の種類	空気銃 ・ 空気拳銃
／ 件	指定番号	第 号 公安委員会
	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	
	生年月日	年 月 日
	銃砲の種類	空気銃 ・ 空気拳銃
／ 件	指定番号	第 号 公安委員会
	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	
	生年月日	年 月 日
	銃砲の種類	空気銃 ・ 空気拳銃
／ 件	指定番号	第 号 公安委員会
	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	
	生年月日	年 月 日
	銃砲の種類	空気銃 ・ 空気拳銃

- 備考 1 申請人を監督することとなる法第4条第1項第5号の2の規定による許可を受けた猟銃等射撃指導員を記載すること。  
 2 不用の欄は、斜線で消すこと。  
 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第65号 (第77条関係)

(表)

縦 ト ー メ チ ン 2 ・ 9 1	<p>注 意 事 項</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 空気銃を携帯する場合には、必ずこの年少射撃資格認定証を携帯しなければならない。</li><li>2 空気銃は、指定射撃場において、特定の猟銃等射撃指導員の指導の下に認定に係る用途に供する場合でなければ所持してはならない。</li><li>3 年少射撃資格認定証の記載事項に変更を生じた場合には、速やかに書換えの申請をしなければならない。</li><li>4 年少射撃資格認定が失効し、又は取り消された場合には、速やかに年少射撃資格認定証を返納しなければならない。</li></ol>	5.40センチメートル
	折 ----- り ----- 目 -----	5.40センチメートル
	<p>第 号</p> <p>交付 年 月 日</p> <p>年少射撃資格認定証</p> <p>公安委員会 印</p>	5.40センチメートル
8.56センチメートル		

(裏)

年少射撃資格者	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; justify-content: center; align-items: center;"><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">写真</div><div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">押し出し スタンプ</div></div>
-----折 -----り -----目 -----	
本 籍	
住 所	
氏 名	<b>銃刀 太郎 [射撃 太郎]</b>
生 年 月 日	
銃 砲 の 種 類	空気銃 ・ 空気拳銃
猟銃等射撃指導員の氏名	
-----折 -----り -----目 -----	
備 考	
<b>氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名</b>	
-----	
-----	
-----	
-----	



第66号（第78条関係）

年少射撃資格認定証書換申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第9条の13第3項において準用する第7条第2項の規定により、年少射撃資格認定証の書換えを次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	ふりがな		電話番号
	氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]	
変更した事項	新	本籍	
		住所	
		氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]
旧	本籍		
	住所		
	氏名	銃刀 太郎	
認定証	認定証番号	第 号	公安委員会
	交付年月日	年 月 日	

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、年少射撃資格認定証の氏名欄に旧姓を併記することを希望。

第67号（第79条関係）

年少射撃資格認定証再交付申請書

銃砲刀剣類所持等取締法第9条の13第3項において準用する第7条第2項の規定により、年少射撃資格認定証の再交付を次のとおり申請します。

年 月 日

公安委員会殿

申請人	本籍	
	住所	
	ふりがな	じゅうとう たろう
	氏名	銃刀 太郎
	生年月日	年 月 日（ 歳）
	電話番号	
申請の理由	<p>旧姓を使用した氏名を削除した年少射撃資格認定証の再交付を希望。</p> <p>※亡失、盗難又は滅失の状況を記載すること。</p>	
認定証	認定証番号	第 号 公安委員会
	交付年月日	年 月 日

- 備考
- 1 亡失、盗難、滅失その他の再交付を必要とすることを示す書類がある場合には添付すること。
  - 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第68号（第80条関係）

年少射撃資格講習受講申込書

銃砲刀剣類所持等取締法第9条の14第1項に規定する講習会の受講を次のとおり申し込みます。

年 月 日

公安委員会殿

申 込 人	住 所		
	ふりがな		
	氏 名	<b>銃刀 太郎 [射撃 太郎]</b>	
	生 年 月 日	年 月 日 ( 歳)	写 真
	電 話 番 号		
受講希望年月日	年 月 日		
受講希望場所			
所持許可の有無	<input type="checkbox"/> 有（ <input type="checkbox"/> 空気銃 <input type="checkbox"/> 空気拳銃） <input type="checkbox"/> 無	年 月 日	

-----（この線から下には記載しないこと。）-----

	受講年月日	受講場所
予 定		
実施結果		
審査の結果	合 ・ 否	

備考 1 所持許可の有無欄には、現に法第4条第1項第4号の規定による所持の許可を受けている銃砲について、□内にレ印を記入すること。

2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※ 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名であり、年少射撃資格講習修了証明書の氏名欄に旧姓を併記することを希望。

第 号

年少射撃資格講習修了証明書

住 所

氏 名 **銃刀 太郎 [射撃 太郎]**

年 月 日生

上記の者は、銃砲刀剣類所持等取締法第9条の14第1項の規定による以下の講習を受け、その課程を修了したものであることを証明する。

受 講 年 月 日	年 月 日
受 講 場 所	

交付 年 月 日

公安委員会 印

**（備考）氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名**

- 備考
- 1 用紙は、洋紙とすること。
  - 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

第69号の2（第82条の2関係）

第	号	クロスボウ射撃資格認定証	
写 真	本籍		
押し出し	住所		
スタンプ	氏名	銃刀 太郎 [射撃 太郎]	
		年	月 日生
上記の者は、銃砲刀剣類所持等取締法第9条の16第1項に定めるクロスボウの射撃の練習を行う資格があることを認定する。			
クロスボウ射撃指導員の氏名			
関係証明書	交付年月日	番号	交付者
クロスボウ講習会の講習修了証明書			
		年	月 日
		公安委員会	印
<b>(備考) 氏名欄の括弧内は旧姓を使用した氏名</b>			

- 備考 1 用紙は、洋紙とすること。  
2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。